



図1-6 ヨウ素の大気中濃度。文部科学省ホームページより。

⑦怪しい人ほど、私は怪しくないという。あまりにもくどくどと大丈夫だといながら最悪の事態に備えるという矛盾した言動を、しかもかなり反復して述べられると、かえって不安になる。

5月3日、これまで100億円をかけて開発されたSPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）の結果が公開された。原発事故などの際、放射線源の情報、気象条件および地形データをもとに周辺環境における放射性物質の大気中濃度や被曝量などを迅速に予

測するシステムだ。本来、周辺住人の防護対策を迅速に進めるためのものであった。しかし、実際にはモニタリングデータが適宜アップされて機能するものらしく、このモニタリングのためのポストが地震により機能せず、使い物にならない、公開するとかえってパニックを誘発するため公表を控えていたという。

私は、自動でなくともマニュアルで測定した結果を入れてシミュレーションすることもできたのではないかと疑問に思う。そもそも地震当日の3月11日16時から1時間ごとに連日シミュレーショ

ンは行われている（図1-6）。最初から放射能は漏れていることになっているが、これは実際漏れていたということだろうか？ それとも、漏れていたらという仮定なのだろうか？ 官房長官の記者会見を聞く限り、当然のこととは思いますが原発周辺では放射能レベルをモニターしていたはずである。いままでの経緯を考えると、じつは初期より放射能が漏れていて、しかし官房長官は漏れていないと会見してしまったので、SPEEDIの結果を公表できなくなってしまったのではないかと？ もしもそうだとすると、国は国民に対して嘘をついたことになる。あるいは、国は情報を一元化できていないことにもなる。

### 原子力災害対策特別措置法の規定に基づく住民への避難指示について

21時23分、原子力災害対策特別措置法の規定に基づきまして、福島県地域、大熊町、~~双葉町~~ <sup>双葉町</sup>に対し、住民の避難の指示をいたしました。（略）対象地域、福島原子力発電所の3km内の地域に住んでいらっしゃる方、滞在していらっしゃる方は、落ち着いて速やかに避難を始めていただきたい。（略）<sup>②</sup>放射能は現在、炉の外には漏れておりません。今の時点では環境に危険は発生しておりません。（略）不確実な噂などに惑わされることなく、<sup>③</sup>確実な情報だけに従って行動するようお願いをいたします。<sup>④</sup>繰り返しますが、先程の福島の原子力発電所の件、原子力災害対策特別措置法に基づいて、（略）現時点では、既に一部の報道がございますが、原子炉のうち、1つが冷却が出来ない状況に入っておりますので、このままの状態が続いた場合に備えて、念のため、避難をしていただきたいということでございます。